

## 令和4年度 鳥取市 Smile 月間（いじめ防止強調月間）の取組

鳥取市立若葉台小学校

本校では各学年で以下のような目標を設定し、各学年の実態に合わせて取り組みを行った。

### ○各学年の取り組み

第1回 スマイル週間 (6月3週)	
全 校	・人権教育参観日 ・第1回資源回収 ・フレンズ遊び ・各委員会のイベント活動 ・第1回心理検査 ・ふれあい面談
1 年	1ねんせいにここにおひさまだいさくせん ～ほんわかことばをともだちにつかおう～
2 年	2年生みんなでもっとなかよくなるろう ～うれしい言葉やほんわか言葉を使おう～
3 年	え顔いっぱい大きくせん ～ほんわか言葉でえ顔をふやそう～
4 年	集団の力を高めよう ～宿泊学習を通して～
5 年	したい、やりたい、地域のために ～みんなと成長、地域と成長～
6 年	Respect ～学校中を笑顔と楽しさであふれさせよう～
わかたけ (肢体)	なかよくあそぼう ～ほんわかことばでもっとたのしく～
ひまわり (知的)	なかよく たのしく あそぼう ～ともだちのことを もっとよくして なかよくなるろう～
おおぞら (情緒)	みんなでスマイル ～約束を守って、仲良く過ごそう～

### ○全校での取り組み

コロナ禍で、従来のような大人数での縦割り班活動や異学年交流が難しい現状で異学年との絆も深めにくくなっている。そこで、月1回の代表委員会の中で、「コロナ禍でも、学校全体の絆を深めることができる取り組み」について話し合い、「リモートクイズ大会」をすることになった。①異学年についてもっと知ることができること ②協力する良さを感じられること ③若葉台小学校の良さを再確認できることを目的として、クイズの問題やミニゲームのルールなどを工夫し6年生が中心となって詳細に企画した。

当日は、縦割り班に分かれて異学年の学習や日々の生活の様子を題材としたクイズやゲームに取り組んだ。グループの中では、出題学年の友達の話聞きながら協力してクイズに答えることで、異学年の様子を知り、楽しむことができた。また、若葉台小学校の良さである「あいさつ」についてもミニゲームやクイズで取り上げた。「心を一つにして、みんなで気持ちの良い学校を作ろう」という気持ちが共有でき、意欲を高めることができた。

今回の取り組みでは「リモート」という形式で場所はそれぞれ離れていたが、異学年のことを知る楽しい交流となったり、モニター画面を通して他のグループとも交流し合うことができたりし、離れていても心の距離を縮め、学校全体が1つになったと感じられる嬉しい会となった。



※上級生が下級生に寄りそいながら話を聞くことで回答を考えていました。



※縦割り班ごとに各教室に分かれてクイズを解きました。